



JAL不当解雇撤回ニュース

No288号 2012.06.10
発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

184名が参加 5月31日の客乗控訴審報告集会

真実から確信・連帯が深まりました

報告集会では、今村弁護士が法廷内でのやり取りについて説明したのち、上条弁護団長が弁論更新の意見陳述の内容を紹介しました。その後、支援の方や職場の代表から、連帯のあいさつをしました。

解雇は不当労働行為の集大成

意見陳述をした上条弁護士の報告

当初、整理解雇しないと約束していた！



更生計画の開始時点（2010年1月21日）で管財人は、「整理解雇はしない」と約束をした。しかし、9ヵ月後の2010年9月27日突然、整理解雇すると言いました。

しかも、12月31日に解雇された客室乗務員

84名のうち71名がCCU組合員で、その中には、CCU執行委員長を含む執行委員6名と会計監査、代議員19名が含まれていた。

労使交渉も形骸化！一方で退職強要！

CCUは、一時帰休やワークシェアなどの具体策を提示したが、会社はまともに取り合わなかった。また、解雇回避に関する労使交渉を差し置いて、整理解雇対象者に無期限の自宅待機を命じ「希望退職」を強要した。これは、「オーバー・ザ・ヘッド」と呼ばれる不当労働行為であった。

ストライキに嘘の脅しで介入！

CCUは、労使対等の立場で解決を求めるため争議権を確立したが、管財人が嘘の脅しを行ったため、12月のストライキは回避せざるを得なかった。

3か月近く前倒して解雇

「人員削減が目標数に達しなかったからやむなく解雇した」というのは、真っ赤な嘘だった。つまり、CCU組合員を狙い撃ちにした不当労働行為だった。

しかも、人員削減目標の達成期限（2011年3月31日）を3ヵ月も前倒して解雇を強行したことからも、「誰を解雇するか」が最大の問題だった。

ILOも労組メンバーの解雇を問題視

ILOが特に問題視したのは、労働組合と十分な協議をしなければならないのに、その労組のメンバーを真っ先に解雇するとは何事か、この点にあった。国際的な批判的となっている不当労働行為を容認した地裁判決を、即刻取り消さなければならない。

連帯と激励言葉を戴きました



東洋酸素川崎労組岡田元委員長

不当労働行為について自主交渉し、中労委での和解解決となった。解雇された12名中6名が職場に戻り定年まで仕事した。JALの闘いが心配。これからも支援して行きたい

西部全労協 波能事務局長

国労で 20 年以上国家的不当労働行為と闘ってきた。多くの仲間に恩を返すつもりで JAL や非正規労働者の闘いを精一杯支援して行きたい。

JMIU 生熊委員長

IBM でも 15 人中 10 人が JMIU 所属社員が解雇。解雇のあと、ボーナス、賃金カット等、全労働者に対する攻撃になっている。限定正社員は名ばかり正社員の解雇を狙ったもの。多くの労働者の権利を守る闘いにつなげたい。

東京争議団小関議長

当たり前の理屈が通らないのが今の司法の流れ。横のつながりを広げて下手な判決を出せないよう追い込むことが重要。首切り自由の流れを食い止める重要な柱が JAL の闘い。全力で頑張りましょう。

JAL 講争を支援する会事務局長杉野弁護士

私は、阪急子会社の労働弁護団です。兵庫県で JAL の訴訟の知名度を上げ手伝いたい。報道も伝わっていない。会社更生の手続きでも 4 要件といいながら形骸化していることが分かった。危機感を持っている。

全厚生国枝事務局次長

3 年 5 か月闘ってきた。先日の人事院判定で一人取り消しを勝ち取った。113 名の雇用確保や新規採用を抑えれば、さらに救えたはず。10~15 分の面接で評価されそれだけで解雇。政治的取組や世論を巻き込んだ闘いも重要。



日東整原告団佐藤事務局長

先日の私たちの決起集会に 190 名が集まってくれた。現在裁判進行協議中。証人として大西賢氏を証人申請した。会社の代理人は抵抗しているが、証人採用を実現させたい。8 月 23 日の裁判に向け、署名、宣伝行

動を行うので、これまで以上のご支援を願いしたい。

契約制 CA 雇止め原告

私は、現在最高裁で闘っている。署名の協力をお願いしたい。そして、リーフレットも完成した。リーフレットは、来月から広めたい。支援をこれからもよろしくお願いします。

フェデラルエクスプレス赤坂委員長

タイ航空では、パワハラ裁判で 2 人の原告が営業部長を訴えている。外航は現在も春闘です。支社長は JAL、ANA の状況を理由に「一時金 7 か月なんてとんでもない」と主張している。ぜひ頑張ってほしい。

ユナイテッド航空長野副委員長

JAL の破たんの原因について明らかにする必要がある。今政府は、お金で解雇を解決する動きになっており、働いている者に影響する問題。全体で頑張っていきたい

CCU 組合古川委員長

客乗職 8000 人が 5000 人に削減され、1000 人近くが新規に採用され、人材のバランスが悪い。安全が低下している。787 運航開始について現場で不安を感じている。先日チーフクラスが 1 名加入した。これからも頑張りたい。



客乗原告内田団長

4 名の証人が決まりました。更に活動を強化して行きたい。監視ファイル事件で関与し断罪された管理職がその後昇格し、解雇を実行した人たちも今年昇格した。稻盛氏の京セラが JAL の 8 番目の株主として銀行以外で名をあげている。CCU は 1975 年 5 月に分裂したが、今 500 名が残っている。職場の代表として活動して来たことに誇りを持っている。



9 月の証人尋問で裁判官に正しい判断を促したい。

**次回口頭弁論期日(証人尋問)
9 月 12 日(木)10 時~16 時
101 号法廷**